

草の根仙台シュタイナー学校

2010

子どもクラス作品展

イズミティ 21 2F ギャラリー 3月31日(水)~4月4日(日) 入場無料

作品展示 & ワークショップ

《 作品 展 示 》9時~22時の開館時

3月31日は午後から、4月4日は午前中までの展示。

小学生土曜クラスの水彩画と手仕事を展示します。

エポックノート展示 4月1日(木) 10:00~13:00

4月3日(土) 10:00~13:00

作品解説

4月3日(土) 16:00~2階和室・ギャラリーホール

ワークショップ《子どもと手仕事》

講師 加納栄利子

とき 4月3日(土) 13:30~16:00

ところ イズミティ21 2階和室

対象 大人 定員 30名

参加費(材料費込) 一般 2500円 会員 2000円

新1年生クラス説明会

とき 4月4日(日) 14:00~15:30

ところ イズミティ21 第2練習室

対象 新1年生の保護者

小学校のシュタイナー教育をお子さんに体験させてみませんか。草の根仙台シュタイナー学校での様子をお話いたします。参加希望の方は、申し込み先にご連絡ください。

申込み先：草の根仙台シュタイナー学校 TEL・FAX 022-786-5065 (9時~12時 橋浦)
お申し込みの後、参加費を下記口座にお振り込みください。材料準備都合上、必ずお申し込みください。
(3月29日までお申し込みください。それ以降のお申し込みは500円増の当日精算になります。)

郵便振替：口座番号02210-7-101803 加入者名：シュタイナー教育講座

人間が人間として育てられるために。
人を愛し、いのちをはぐくむために。
人生が実り豊かなものになるために。

作品展

寒さの中春を待つ季節に、今年もまた子どもクラス作品展のお知らせできることを感謝いたします。

草の根仙台シュタイナー学校は、仙台でシュタイナー教育を実践する場として 1997 年6月に始めました。今年で13回目の作品展です。

土曜クラスで、子どもたちはその学年でもっともふさわしいことを学びます。文字との出会い、四則計算、動物学、植物学。美しい絵と色彩で作られるエポックノートは子どもたちが自分で作る教科書です。三原色から始まる水彩画は、子どもたちの魂を揺さぶる感覚体験です。低学年での色との深い出会いは、やがて繊細な植物・風景を描くに至ります。土曜クラスにはシュタイナー学校特有の運動芸術、オイリュトミーの時間もあります。オイリュトミーの動きは、子どもの成長に調和的に働きかけ、コミュニケーションの力を育てます。

美しい芸術体験を通して子どもたちは世界に共感を抱きます。それは、大人になってから、人生を肯定し、たくましく生きていく力になります。皆様に子どもたちの学びの足跡をご覧いただければ幸いです。

ワークショップ 子どもと手しごと

シュタイナー学校の子どもたちは、1年生から「手仕事」を学びます。なぜ、子供に手仕事が必要なのでしょう。手仕事にはどんな意味があるのでしょうか。手仕事の意義と内容を「手」を動かしながら、体験してみたいと思います。原毛を使って、人形作りに欠かせない球体を作り、羊毛の小人を作る実習をします。ぜひ「手しごと」の楽しさをともに体験したいとおもいます。

—加納栄利子プロフィール—

大学卒業後、研究所、保育園に勤務、同時に障がいを持つ子どもと親たちとのボランティアにかかわる。85年渡独、教員養成ゼミナールでゲストとして学ぶ。共同体でハンディをもった人たちとともに、自給自足しつつ、実習生として、ゼミナール生として、学び、とくに染めや織りを中心とした芸術体験を重ねる。

横浜シュタイナー子どもの園設立に携わり、理事を務めた。また卒園児の土曜クラスで「手しごと」の時間を6年間担当。

97年に函館に戻り、函館五稜星の会で、シュタイナーの読書会に参加。土曜クラス、教育体験講座の「手仕事」の授業を担当している。また札幌での子どもたちのシュタイナー教育講座の講師を10年間続けている。

自宅に工房「手しごと」を開き、紡ぎ、染め、織りの創作を続けている。障がいを持った人が通う函館の作業所で織りの指導にあたっている。